

全国

検数労連

第807号

〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2 日港福会館 5 階

Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622

メール roren@knsu.jp

ホームページ http://knsu.jp/

全国検数労働組合連合
書記局

第2回 検数労連25春闘交渉10:00～10:30

25夏季一時金スト権賛成票96%以上の高率で確立する！

スト権を背景に要求貫徹！全国団結で要求に沿った回答を勝ち取ろう！

【25夏季一時金スト権集約結果】

地区名	項目	賛成	反対	白紙	棄権	合計
全 国	夏季一時金	945	9	26	4	984
	諸要求	947	4	28	5	984

《スト権集約結果》

25夏季一時金スト権確立に向け、5月30日(金)から6月9日(月)正午までを投票期間として中央集約した結果、全国投票総数984票中25夏季一時金では945票、諸要求で947票の賛成票を獲得しま

した。

圧倒的な賛成票を受け、中央闘争委員会では組合員の大きな期待に応えるべくスト権を背景に組合要求に沿った回答の構築を求めています。

《第2回交渉》

6月13日(金)第2回検数労連25夏季一時金交渉で組合は両協会に対し、25夏季一時金におけるスト権が高率で確立されたことを通知しました。

その後、両協会から今夏季一時金に対する基礎資料(対象人員・平均勤続・平均年齢・平均本給などの資料)の説明を受け、組合は次の通りの主張を行い、組合要求に沿った回答の構築するよう求めました。

《組合主張》

今夏季一時金におけるスト権の集約結果(賛成票96%以上)は、昨今の諸物価高騰によって生活苦に陥っている組合員の期待の表れである。

我々にとって一時金とは生活賃金の後払いという性格上、今夏季一時金については現状の生活苦を打破するため

にも要求に沿った回答が求められる。

現在、両協会の共通課題として人員不足が挙げられる。そのような中で、特に中間世代の離職者が多数出ていることに組合としては今後の事業運営に支障をきたす恐れがあると懸念している。

まずは両協会ともに離職者を出さない取組みの一つとして、組合要求に沿った一時金が必要となる。

これまでの間、両協会が積極的に取り組んでいるパートナードシップにおける適正料金の収受の取組みに対する真価が問われる一時金であると考えている。今こそ料金収受の取組みの成果を『人への投資』に回していく必要があると考える。



次回交渉: 6月16日(月)10:00～ 第3回 一時金交渉
両協会に対し、回答構築に向けた考え方などの披歴を求めます。